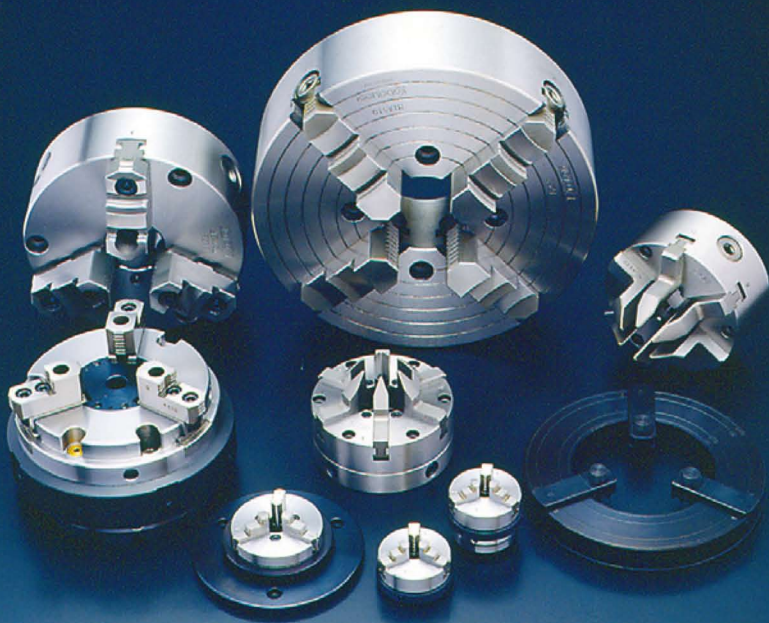


小林鉄工株式会社

顧客の要望に合わせた
旋盤用チャックを設計

海外発注可
納期相談
企画力自信有
コスト相談
オンライン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産対応



旋盤で使う手動チャックを製造

業務内容

「ビクター」でおなじみの
手動チャックメーカー

旋盤等で加工対象を固定するチャック。泉南市に本社を置く小林鉄工は、府内でも数少ないチャックメーカーだ。同社の主力商品は、放射状に連動したツメが並ぶ「スクロールチャック」と、各ツメが独立して作動する「インデペンデントチャック」。2〜32in（直径50〜800mm）と幅広いラインナップを取り揃え、規格品は自社ブランド「ビクターチャック」として販売を行っている。手動チャックの他にも、マシニングセンター・フライス盤・ボール盤用チャックや薄型チャックといった特殊チャックも取り扱う工作機械部品専門メーカーだ。

強み

顧客のニーズを第一に
丁寧な対応を心掛ける

もともと手動チャックは特殊形状物を加工する際に用いられることが多いが、同社では製造前に営業担当が顧客と綿密な打ち合わせを行い、より最適なチャック形状を提案している。自社製品に細かなアレンジを加える等、同業他社以上のきめ細かさで顧客対応に臨むのだという。

「社是に『顧客のニーズにお応えできる、心の込められた製品を送り出す』という文言があります。この考えを第一に、どんなニーズにも『できる』を前提に対応しているのです」と小林専務。どういふものをどのように掴み、どう加工したいのか。顧客のニーズを丁寧に掴み、小ロットであってもお互いに納得のいく品質で納品する。この

姿勢こそ、同社製品が多くのファンを持つ理由の一つだろう。

技術への
こだわり

熟練職人の手作業で
公差を極限まで抑える

もちろん品質面でも高い精度を誇る。例えばスクロールチャックでは、ツメのすり合わせを熟練の職人が手作業で行い、細かな研磨を繰り返す。規格で許される公差はたったの0.01（0.02mm）。少しのズレが加工作業時の手間に大きく関わるため、人間の目は絶対に欠かせない。



職人の技が光るツメすり合わせ工程

今後の
展望

とことん品質を追求し
すべての期待に応えたい

今後の展開について、「チャック製造から離れることは絶対にない」と断言する小林専務。チャック製造に集中することでより良い品質を追求し、ユーザーの多様なニーズを的確にカバーできる新商品づくりを続けていきたい考えだ。近年では、新商品の「コンビネーションチャック（CIS）」が好調な売り上げを見せている。インデペンデント（爪単動）とスクロール（爪連動）の両機能を備えたチャックで、こちらも顧客のニーズをもとに発案された商品だ。他にもチャックの逆側から加工品を支え、振れ防止を補助する「ライフグリップ」も人気が高い。

COMPANY PROFILE

小林鉄工株式会社

大版
24当社の
歴史

昭和15年に軍需省監督指定工場となって以来、工作機械チャックの専門メーカーとして歩んできました。高い品質と迅速で柔軟な顧客対応力が我々の強みです。ユーザーの要望に全力で取り組むうち、気づけば多種多様な製品ラインナップが揃うようになりました。今後もニーズは多様化すると思いますが、これまで以上にお客様の想いに応えていきたいですね。

お客さまの要望には、必ず「できる」という
姿勢で応えるようにしています。

専務取締役 小林 尚司さん



■主な事業内容

スクロールチャック・インデペンデントチャック等工作機械の製造等

■主な取引先（納入先）

機械・工具商社、工作機械メーカー等

住所／〒590-0531
泉南市岡田3-9-4
TEL／072-483-2533
FAX／072-483-4391
創業／大正7年3月
設立／昭和29年7月
資本金／1,000万円
従業員／37名

<http://www.chuck.co.jp/>